

みずほCustomer Desk Report 2018/08/17号(As of 2018/08/16)

国際為替部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	110.63
				GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	110.59	1.1342	125.44	1.2686	0.7234
SYD-NY High	111.12	1.1409	126.49	1.2754	0.7287
SYD-NY Low	110.46	1.1336	125.30	1.2686	0.7215
NY 5:00 PM	110.90	1.1377	126.17	1.2712	0.7261
NY DOW	25,558.73	396.32	日本2年債	-0.1200	0.00bp
NASDAQ	7,806.52	32.41	日本10年債	0.1000	1.00bp
S&P	2,840.69	22.32	米国2年債	2.6185	0.83bp
日経平均	22,192.04	▲12.18	米国5年債	2.7439	1.01bp
TOPIX	1,687.15	▲10.88	米国10年債	2.8687	0.55bp
シカゴ日経先物	22,290.00	280.00	独10年債	0.3165	1.55bp
ロンドンFT	7,556.38	58.51	英10年債	1.2375	1.30bp
DAX	12,237.17	74.16	豪10年債	2.5555	▲1.05bp
ハンセン指数	27,100.06	▲223.53	USDJPY 1M Vol	7.00	▲0.48%
上海総合	2,705.19	▲18.07	USDJPY 3M Vol	7.85	▲0.29%
NY金	1,184.00	▲1.00	USDJPY 6M Vol	8.03	▲0.25%
WTI	65.46	0.45	USDJPY 1M 25RR	-1.18	Yen Call Over
ORB指数	188.38	1.43	EURJPY 3M Vol	9.45	▲0.32%
ドルインデックス	96.65	▲0.05	EURJPY 6M Vol	9.55	▲0.30%

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
8月16日	10:30	豪 雇用者数変化	7月 -3.9k	15.0k
	10:30	豪 失業率	7月 5.3%	5.4%
	17:30	英 小売売上高(除自動車燃料、前月比/前年比)	7月 0.9%/3.7%	0.0%/2.8%
	21:30	米 新規失業保険申請件数	-	212k
	21:30	米 住宅着工件数	7月 1168k	1264k
	21:30	米 住宅着工件数(前月比)	7月 0.9%	7.4%
	21:30	米 建設許可件数	7月 1311k	1310k
	21:30	米 住宅建設許可(前月比)	7月 1.5%	1.4%

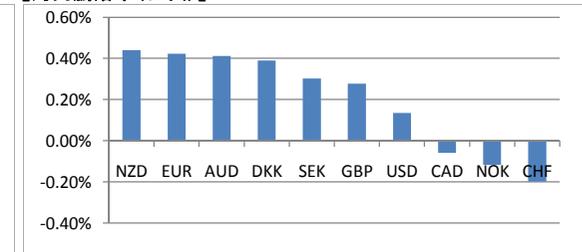
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
8月17日	18:00	欧 コアCPI・確報	7月 1.1%	1.1%
	18:00	欧 CPI(前年比)・確報	7月 2.1%	2.0%
	18:00	欧 GPI(前月比)	7月 -0.3%	0.1%
	23:00	米 ミシガン大学消費者マインド・速報	8月 98.0	97.9

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	110.40-111.60	1.1350-1.1500	125.50-127.00

【マーケットインプレッション】

「夏枯れ相場」と言われ流動性が細るとされるこの時期。しかし、今年は米中貿易摩擦やトルコなどのトピックスに相場が一喜一憂する展開が続いている。昨日は8月下旬(8/22-23予定)に米中通商協議の再開が発表された。その他、トランプ氏や政府要人からドル高容認も取れる発言が出ており、ドル円は一時的に111円台をつけるなど小幅ながらも上昇に転じている。トルコリラは同国財務相が資本規制等の対応の可能性を否定する中で対ドルで上昇。一定の安心感が醸成されている状況。いずれのトピックスも一朝一夕での事態の好転は期待しにくく「ヘッドラインリスク」は残存するものの、特段材料が出てこない場合は、110円台後半から111円台前半での底堅い推移になるのではと考えている。

東京	110.59レベルで取引を開始したドル円は安寄りした日経平均株価が下げ幅を拡大させる中、安値110.46まで下落。しかし中国商務次官が通商協議のために8月末に訪米するとの報道が伝わると2ヶ月前に途絶えていた米中通商協議が進展するとの期待感からドル円は110.80付近まで急伸。その後、日経平均株価も底堅い展開が続く中、ドル円は110.93まで続伸。その後は同水準での推移が続き、110.84レベルで海外に渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン時間のドル円は110.84レベルでオープン。東京時間の上昇後、欧州時間は特段の材料もなく小動き。110.77~92の狭いレンジでの取引となり110.83レベルでNYに渡った。ユーロドルは1.1386レベルでオープンした後は材料が特に無い中、方向感のない展開。東京時間の上げをやや解消し1.1369レベルでNYに渡った。ポンドドルは1.2724レベルでオープン。英7月小売売上高が予想を上回ったことで1.2733まで上昇するが、サッカーW杯などの特殊要因との見方が多かったことから反落。結局1.2702レベルでNYに渡った。(ロンドン17:00)
ニューヨーク	海外時間中に中国商務次官が8月下旬に通商協議のため訪米するとの報道が伝わり、米中通商協議再開への期待感が強まったことからドル円は110.93まで上昇し、110.83レベルでNYオープン。トルコのアルバイラ財務相が投資家との電話会議を行い「経常赤字の縮小が政策の優先事項」、「資本統制は検討課題にならない」と発言しており、トルコリラ買いドル売りの展開となったことで110.56まで下落。しかし、高寄りしたダウ工業平均株価が上げ幅を拡大させる中、ドル円も110.81まで反発。NY午後にはトランプ米大統領や外務省NEO委員長がドル高を容認するコメントをしており、さらにムーンシ米財務長官が「牧師が解放されなければ追加制裁を準備する」と発言したことから、トルコリラ売りドル買いが進み高値111.12まで上昇。終盤は110.90近辺を方向間なく推移し、そのまま110.90レベルでクローズした。なお、米紙が政府関係者の話として、米中通商協議が8月22日、23日に行われる予定と報じた。また、ハウエルFRB議長が今月24日NY時間午前10時にジャクソンホール会合でスピーチをすることを発表した。一方、ユーロドルは1.1369レベルでNYオープン。朝方は米国経済指標が予想を下回り、ドル売りが進んだことから高値1.1409まで上昇するが、1.1386まで反落。NY午後のトランプ米大統領、外務省NEO委員長、ムーンシ米財務長官の発言をきっかけにドル買いに転じたことから、1.1348まで続落し、1.1377レベルでクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 上野・田家